

平成 25・26 年度 土木学会複合構造委員会 第 1 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 25 年 4 月 26 日（金）14:00～18:00
2. 場 所：スクワール麹町 百合の間
3. 出席者：島委員長，奥井副委員長，池田幹事長，大久保幹事，大山幹事，葛西幹事，斉藤幹事，
滝本幹事，西崎幹事，広瀬幹事，古市幹事，溝江幹事，渡辺幹事，竹原事務局，
中村 H211 委員会委員長
(欠席者：下村幹事，牧幹事，松本幹事)
4. 配布資料
資料 幹 1-0 平成 25・26 年度第 1 回複合構造委員会幹事会議事次第
資料 幹 1-1 平成 23・24 年度第 12 回複合構造委員会幹事会議事録(案)
資料 幹 1-2-1 平成 25・26 年度幹事会名簿
資料 幹 1-2-2 平成 25・26 年度複合構造委員会組織図
資料 幹 1-2-3 平成 25・26 年度幹事会作業分担(案)
資料 幹 1-2-4 平成 25・26 年度幹事会スケジュール(案)
資料 幹 1-3 平成 25・26 年度委員会名簿(案)
資料 幹 1-4-1 平成 25 年度委員会予算(案)
資料 幹 1-4-2 平成 24 年度委員会会計報告
資料 幹 1-5-1 平成 25 年度重点研究課題審査結果
資料 幹 1-5-2 平成 25 年度重点研究課題審査結果（別紙資料）
資料 幹 1-6-1-1 平成 24 年度委員会活動度個別調査書確認依頼
資料 幹 1-6-1-2 平成 24 年度委員会活動度個別調査書
資料 幹 1-6-1-3 調査研究委員会の予算配分方法の見直しに関する連絡
資料 幹 1-6-2-1 平成 24 年度 JSCE2010 自己評価作成依頼
資料 幹 1-6-2-2 平成 24 年度 JSCE2010 自己評価票
資料 幹 1-6-2-3 平成 24 年度 JSCE2010 4 つの視点からの評価票
資料 幹 1-7-1 平成 24 年度土木学会功績賞推薦書
資料 幹 1-7-2 平成 24 年度土木学会功績賞受賞理由
資料 幹 1-8-1 第 10 回複合・合成構造シンポジウム_会告
資料 幹 1-8-2 第 10 回複合・合成構造シンポジウム_今後のスケジュール
資料 幹 1-8-3 第 10 回複合・合成構造シンポジウム_講演集原稿のページ数について
資料 幹 1-9 土木学会論文集特集号準備状況
資料 幹 1-10-1-1 平成 25 年度全国大会研究討論会草案
資料 幹 1-10-1-2 平成 25 年度全国大会研究討論会時間割
資料 幹 1-10-1-3 平成 25 年度全国大会研究討論会連絡
資料 幹 1-10-2 平成 25 年度全国大会共通セッションプログラム編成(案)
資料 幹 1-11 出版関連
資料 幹 1-12-0 小委員会一覧
資料 幹 1-12-1 H101 複合構造標準示方書小委員会
資料 幹 1-12-2 H104 東日本大震災被害調査小委員会
資料 幹 1-12-3-1 H105 300 年プロジェクト小委員会
資料 幹 1-12-3-2 重点研究課題(概要)暫定版

資料 幹 1-12-4-1 H180 FRP 水門設計ガイドライン作成小委員会
 資料 幹 1-12-4-2 FRP 水門技術ガイドライン案_第1～3章
 資料 幹 1-12-4-3 FRP 水門技術ガイドライン案_第4～6章
 資料 幹 1-12-4-4 FRP 水門技術ガイドライン案へのコメント_H180 小委員会
 資料 幹 1-12-5 H206 複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会
 資料 幹 1-12-6 H208 FRP 複合構造研究小委員会
 資料 幹 1-12-7 H209 FRP によるコンクリート構造の補強設計研究小委員会
 資料 幹 1-12-8-1 H210 複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会
 資料 幹 1-12-8-2 講習会会告_H104,H210 合同講習会
 資料 幹 1-12-8-3 行事計画書_H104,H210 合同講習会
 資料 幹 1-12-9 H211FRP と鋼の接合方法に関する調査研究小委員会_今後の活動について
 資料 幹 1-12-10 H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会
 資料 幹 1-13 第1回委員会次第案
 資料 幹 1-14 IALCCE2014 実行委員会・配布資料
 資料 幹 1-15-1 タスクフォース依頼メール
 資料 幹 1-15-2 タスクフォースヒアリング依頼文書
 資料 幹 1-15-3 タスクフォース対処戦略(案)

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

幹事会開催にあたり、島委員長より挨拶があった。また、副委員長、幹事長、各幹事より、自己紹介があった。

(2) 平成 23・24 年度第 12 回複合構造委員会幹事会議事録の確認（資料 幹 1-1）

斉藤幹事より、前回幹事会議事録案が読み上げられ、承認された。

(3) 平成 25・26 年度複合構造委員会・幹事会体制(分担と進め方)（資料 幹 1-2-1～1-2-4）

池田幹事長より、平成 25・26 年度の幹事会体制について説明があった。また、委員会ならびに幹事会の日程を以下のとおり決定した。

- ・第1回委員会 6月20日（木）14:00～17:00 [土木学会]
- ・第2回委員会 12月19日（木）14:00～17:00 [土木学会]
- ・第2回幹事会 7月30日（火）14:00～17:00 [土木学会]
- ・第3回幹事会 9月5日（木）14:00～17:00 [土木学会]
- ・第4回幹事会 11月15日（金）14:00～17:00 [土木学会]
- ・第5回幹事会 1月28日（火）14:00～17:00 [土木学会]
- ・第6回幹事会 3月7日（金）8日（土） [東京以外]

(4) 平成 25・26 年度複合構造委員会の構成について（資料 幹 1-3）

池田幹事長より、平成 25・26 年度の複合構造委員会の構成案について説明があった。伊藤前委員を顧問とすることについて確認がなされた。また、全委員に対し、池田幹事長より、委嘱状送付前に事前確認をとることとなった。

(5) 平成 24 年度委員会決算、平成 25 年度委員会予算（案）について（資料 幹 1-4-1, 1-4-2）

西崎前幹事長より、資料 幹 1-4-2 に基づき、昨年度の予算執行結果について報告があった。

池田幹事長より、資料 幹 1-4-1 に基づき、本年度の予算案について説明があった。昨年度までの状

況を参考に作成された案について議論した結果、論文集編集小委員会の予算確保を優先し、2 種委員会の予算をゼロとすることとなった。ただし、学会会議室が確保できないなどやむを得ない場合に 2 種委員会が使用できる会場費を予備費の中に見込むこととなった。また、12 月開催予定の第 2 回委員会において、各委員から年度末に向けての予算執行の希望を聞き、その時点で予算計画の見直しを行うことを確認した。

(6) 平成 25 年度重点研究課題について（資料 幹 1-5-1, 1-5-2）

池田幹事長より、重点研究課題の評価結果について報告があった。本委員会が申請した課題は採択されなかった。

(7) 平成 24 年度委員会活動度評価・自己評価について（資料 幹 1-6-1-1～1-6-1-3, 1-6-2-1～1-6-2-3）

池田幹事長より、活動度評価と JSCE2010 自己評価について説明があった。委員会予算の評価指標が行事参加者数と出版物購読者数の合計に変わった。また、JSCE2010 自己評価票については、西崎前幹事長と相談しながら、今後まとめていくとのことであった。

(8) 平成 24 年度土木学会功績賞について（資料 幹 1-7-1, 1-7-2）

古市幹事より、土木学会功績賞について報告があった。本委員会で推薦した池田顧問が受賞した。そこで、池田顧問に 6 月開催予定の第 1 回委員会に出席していただき、委員会終了後、お祝いの会を開くこととなった。

(9) 第 10 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムについて（資料 幹 1-8-1～1-8-3）

溝江幹事より、第 10 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムの準備状況について説明があった。シンポジウム投稿予定者より、投稿原稿と土論集特集号のページ数の制限の相違（投稿原稿は 8 ページ以内、土論集特集号は 20 ページ以内）について質問があり、建築学会に相談した結果、シンポジウム投稿原稿のページ数は今後も 8 ページ以内（あるいは 8 ページ標準の 10 ページ以内）とすることになったとのことであった。また、島委員長より、各連絡幹事に対し、グレードの高い論文を投稿していただけるよう、各小委員会に働きかけていただきたいとの要請があった。

(10) 土木学会論文集特集号について（資料 幹 1-9）

葛西幹事より、土木学会論文集特集号の準備状況について説明があった。投稿から発刊までのスケジュールを確認した後、招待論文について議論した。議論の結果、執筆者は歴代の委員長経験者に限定しないほうが良いなどの意見が出たが、第 1 回については小委員会の案（上田委員に執筆を依頼）に同意することとした。また、特集号の英語表記について確認した。さらに、委員を 3 名追加したいので、後日、委員追加に関するメール審議をお願いしたいとの要請があった。

(11) 平成 25 年度全国大会・年次学術講演会について（資料 幹 1-10-1-1～1-10-1-3, 1-10-2）

池田幹事長より、資料 幹 1-10-1-1～1-10-1-3 に基づき、研究討論会の企画について説明があった。日程が決まり、本委員会企画の研究討論会は 9 月 6 日（金）12:40～14:40 になったとのことであった。また、パネラーについて議論がなされたが、特に意見は出ず、資料 幹 1-10-1-1 の案に基づき H105 委員会に検討していただくこととなった。

広瀬幹事より、資料 幹 1-10-2 に基づき、共通セッションのプログラム案について説明があった。座長候補者には一般セッションと重複しないように事前に確認をとることとなった。

(12) 出版関係（資料 幹 1-11）

池田幹事長より、出版関連について報告があった。

(13) 小委員会報告審議事項（資料 幹 1-12-0）

H101 複合構造標準示方書小委員会（資料 幹 1-12-1）

渡辺幹事より、小委員会の活動状況について報告があった。来年度、日本橋梁建設協会から合成床版の設計・施工に関するガイドラインの作成を受託する予定であることに関連し、先んじて、今年度より施工編部会に日本橋梁建設協会から委員が参加する、また他の部会でも委員の追加があるとのことで、委員追加に関し、幹事会にてメール審議を、第1回委員会にて審議をお願いしたいとの要請があった。また、第1回委員会にて、改訂作業状況の中間報告を行うこととなった。

H104 東日本大震災被害調査小委員会（資料 幹 1-12-2）

滝本幹事より、小委員会の活動状況について報告があった。成果報告書の通読依頼（期限は5月末日）に対し、葛西幹事（とりまとめ）、大久保幹事、斉藤幹事の3名が担当することとなった。

H105 300年プロジェクト小委員会（資料 幹 1-12-3-1, 1-12-3-2）

古市幹事より、小委員会の活動状況について報告があった。全国大会・研究討論会終了後も継続して活動を行う方向で、主要メンバーと議論するとのことであった。

H180 FRP 水門設計ガイドライン作成小委員会（資料 幹 1-12-4-1～1-12-4-4）

西崎幹事より、小委員会の活動状況について報告があった。作成されたガイドライン案の通読依頼があり、意見があれば西崎幹事まで連絡することとなった。また、第1回委員会でガイドラインの概要を報告することとなった。

H206 複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会（資料 幹 1-12-5）

渡辺幹事より、小委員会の活動状況について報告があった。昨年度実施した実験の結果をEASECで発表する予定であり、また第10回複合シンポへの投稿も検討しているとのことであった。

H208 FRP 複合構造研究小委員会（資料 幹 1-12-6）

西崎幹事より、小委員会の活動状況と委員の交代について報告があった。

H209 FRP によるコンクリート構造の補強設計研究小委員会（資料 幹 1-12-7）

池田幹事長より、小委員会の活動状況について報告があった。

H210 複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会（資料 幹 1-12-8-1～1-12-8-3）

溝江幹事より、小委員会の活動状況について報告があった。成果報告書の通読依頼（期限は5月末日）に対し、大山幹事（とりまとめ）、下村幹事、広瀬幹事の3名が担当することとなった。また、H104委員会との合同講習会の準備状況について説明があり、講習会への参加が要請されるとともに、島委員長に開会挨拶の依頼がなされた。さらに、今年度より行事に対する学会管理費が30%に上がったため、行事計画書の見直しを行うこととなった。

H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会（資料 幹 1-12-10）

溝江幹事より、小委員会の活動状況について報告があった。

(14) 第1回複合構造委員会について（資料 幹 1-13）

池田幹事長より、第1回複合構造委員会の議事次第の確認が行われ、以下の変更を行うこととなっ

た.

- ・新規小委員会の設置は審議事項から削除する.
- ・論文集特集号は審議事項から削除し、報告事項とする.
- ・H005, H101 委員会の委員追加を審議事項に追加する.

(15) H211 FRP と鋼の接合方法に関する調査研究小委員会の今後のスケジュールについて

(資料 幹 1-12-9)

中村 H211 委員会委員長より、H211 委員会の活動状況と今後のスケジュール、今後の活動方針について説明がなされ、了承された.

委員会の委嘱期間は3月末までであったため、5月24日に開催予定の最終委員会終了後は、幹事を中心とした取りまとめ担当で成果報告書の編集作業を進め、11月の講習会開催を目指す. また、成果報告書は当初2分冊とする予定であったが、状況によっては、1冊にまとめる可能性があるとのことであった.

また、今後の方向性について、1種委員会を立ち上げて接着接合に関するガイドラインを作成することや、H208委員会と調整しながらFRP構造物の構造設計に関する研究小委員会を立ち上げることが考えられるとのことであった.

(16) その他 (資料 幹 1-14, 1-15-1~1-15-3)

- ・中島委員より、IALCCE2014開催の案内があり、複合構造委員会でMini - Symposia や Special Sessions を企画する場合には7月1日までに企画書を提出いただきたいとのことであった.
- ・社会インフラ維持管理・更新検討タスクフォースより、学会内の各委員会の維持管理の取り組みや対処戦略案(資料 幹 1-15-3)について意見交換を行いたいのでヒアリングに応じて欲しいとの連絡があり、島委員長に対応について相談することとなった.
- ・複数の委員会が今年度で活動期間を終えることに関連し、島委員長より、鋼とコンクリートの複合構造を対象とした小委員会の立ち上げが要請され、大山幹事と葛西幹事で検討することとなった.

以上 (記録・文責 溝江)